



# まい ぶん だより

第32号

平成15年7月8日発行

## 江戸時代の墓

かこいじょうあと  
- 串木野市柵城跡 -



串木野市柵城跡は平成13年度から発掘調査が続けられています。昨年度の調査で江戸時代の墓が141基見つかりました。墓の形は座った状態で埋葬されたと考えられる円形のもの、寝た状態で埋葬されたと考えられる方形のものがあります。中には2m以上掘り下げられた円形の墓もありました。ほとんどの墓から「三途の川の渡し賃」といわれる六道銭が出土し、数珠玉・煙管・扇子・かんざしなどが副葬されている例もありました。南九州の近世墓における六道銭は7枚副葬されたものが多く、柵城跡でもほとんどの墓から7枚出土しました。

また、別の地点では、土師器や洪武通宝・永楽通宝が副葬された中世の墓も14基見つかり、柵城跡が古くから墓地として使用された神聖な場所であることがうかがえます。

鹿児島県立埋蔵文化財センターの見学は、  
土曜・日曜・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時～午後5時まで、入館料は無料です。お近くにお越しの節はぜひお立ち寄りください。

埋蔵文化財センターホームページ：<http://www.jomon-no-mori.jp>

### 目次

- ・江戸時代の墓 … 1
- ・新所長にインタビュー … 2
- ・平成14年度刊行報告書・紀要 … 2
- ・プレイバック特別企画展 … 3
- ・遺跡紹介・発掘体験してみませんか … 4
- ・平成15年度調査・整理遺跡一覧 … 5
- ・施設紹介「写場」 … 6
- ・平成15年度長期研修生紹介 … 6
- ・平成15年度定期人事異動 … 6

## 「県民に親しまれるセンターに」

木原俊孝新所長にインタビュー



### 1 異動を告げられたときの感想

前任の所属が1年しか経っておらず、異動そのものを予想していなかったし、これまで事務系の職員が担当したことのないポストであり、驚きと責任の重さに思わず背中に電流が走った感じがした。

### 2 埋蔵文化財センターのあり方について

知事に「天からの贈りもの」と言わしめた上野原遺跡、その保存活用を目的に開園した「上野原縄文の森」の中にあって、センターがどうあるべきなのか私なりにもっと時間をかけて考えてみたい。

発掘調査や研究を着実に進めながら、その成果を公開し活用を図ることによって埋蔵文化財に対する県民の正しい理解と認識を高め、郷土愛を培う拠点としての機能をいっそう高めていく必要がある。今後もセンターとして普及啓発の部門を決しておろそかにしてはならないような気がする。

また、センターは教育機関であり、県の教育行政

の目指すところも踏まえた対応をすることが大切であると思っている。

### 3 センターの果たす役割について

教育機関である当センターは、県民の生涯学習の場として、あるいは学校教育の場として「上野原縄文の森」と共に豊富な教材と人材を有している。特に、学校教育においては総合的な学習の時間をはじめ、各種教育活動の支援ができるのではないかと思う。

また、埋蔵文化財専門職員の養成や発掘調査の指導など市町村への支援も行い、市町村や県内外の関連施設等とのネットワーク化と情報の共有化なども必要であると考えている。

### 4 センター職員に望むこと

上野原遺跡が脚光を浴びてから県民の埋蔵文化財に対する関心も高くなってきており、埋蔵文化財センターに対する期待も大きい。

全国でも有数の施設・設備を有する当センターで仕事ができることを誇りに、まずは公務員としての責務を忘れることなく、専門職員としての資質の向上にも努めてほしい。

また、埋蔵文化財センターは、上野原縄文の森との連携なくしてはあり得ないことを認識して、お互いの協力体制を惜しまないでほしい。

72名の大所帯であるが、いろいろと建設的な意見を出し合って、センターの在り方や役割、学校との関わり方、県民への啓発などより良い方向をみんなで見い出していきたいと思っている。

## 平成14年度刊行の報告書と紀要

平成14年度に埋蔵文化財センターでは18冊の報告書と紀要を刊行しました。創刊号となった紀要は11題目の論文を掲載しており、時代、内容とも幅広い構成となりました。報告書は県内の市町村教育委員会などの公共機関や大学などの研究施設で、研究紀要の論文はホームページ上で見ることが出来ます。



報告書名	遺跡所在地
1 今里遺跡	東市来町
2 三角山遺跡	中種子町
3 鳴野原遺跡	川辺町
4 垂水・宮之城島津家屋敷跡	鹿児島市
5 市ノ原遺跡(第1地点)	市来町
6 犬ヶ原遺跡	東市来町
7 鍋尾遺跡	喜入町
8 上野原遺跡(第2～7地点)	国分市
9 雪山・猿引遺跡	東市来町
10 中原遺跡	始良町
11 森・白金原遺跡	始良町
12 前畑遺跡	川内市
13 楠元・城下遺跡	川内市
14 山ノ脇・石坂・西原遺跡	伊集院町
15 武A・B・C遺跡他	鹿児島市
16 城ヶ尾遺跡	福山町
17 永磯・高篠坂遺跡	福山・財部町
18 上ノ原遺跡	市来町
19 研究紀要「縄文の森から」創刊号	

## とくべつ き かくてん — プレイバック特別企画展 —

「上野原縄文の森」展示館では、県内各地の遺跡で出土した遺物等の収蔵品を活用して、展示館1階の企画展示室で特別企画展を開催しています。平成14年10月5日の「上野原縄文の森」オープン以来、ほぼ3か月ごとに新しい展示を行っています。毎回のテーマごとに遺物等が身近に感じられる展示を心がけており、来館者の評判は上々のようです。展示館は毎月第1・第3月曜日は休館日となっておりますのでご注意ください。



第1回 「過去から未来へ」の展示風景

これまでの特別企画展と第5回特別企画展のテーマ・内容をご紹介します。

- ・第1回特別企画展（10月5日～12月8日）  
「かごしま考古名品展－過去から未来へ－」  
「上野原縄文の森」の開園を記念して、鹿児島における考古学の歩みを振り返ってみました。
- ・第2回特別企画展（12月15日～2月9日）  
「再発見！鹿児島歴史  
－よみがえる古代の形－」  
「よみがえる」をキーワードとして、レプリカ製作や土器の復元などにスポットをあててみました。
- ・第3回特別企画展（2月15日～4月20日）  
「平成14年度新発見！かごしまの遺跡  
鹿児島県立埋蔵文化財センター速報展」  
平成14年度に発掘調査で出土した遺物や、整理作業で復元、分類された遺物を紹介しました。
- ・第4回特別企画展（4月27日～7月13日）  
「収蔵品展 かごしまの石の文化  
－ようこそストーンワールドへ－」  
約3万年前の立切遺跡（中種子町）出土の「磨石」「斧形石器」「磨製石斧」から、江戸時代の鹿児島城（鹿児島市）出土の「上水道石管」「碁石」のような近・現代の石文化まで、さまざまな「石」を展示しました。
- ・第5回特別企画展（7月19日～10月26日）  
「よみがえる古代人  
－発掘された奄美の世界－」  
奄美群島出土の遺物を中心に、先史時代の奄美群島と本土との交流にスポットを当てる予定です。



第2回 「よみがえる古代の形」の展示風景



第3回 「速報展」の展示風景



第4回 「ようこそストーンワールドへ」の展示風景

## 遺跡紹介

## ただ今、発掘調査中！



窪見ノ上遺跡 縄文時代早期集石

のうぎょうかいほつそうごう

## 農業開発総合センター遺跡群（金峰町）

吹上町の市街地から国道270号線を加世田市方向に向かってしばらく行くと、金峰町との町境に真新しい大きな県立農業大学の建物が見えてきます。この建物や研究・実習用の畑に予定されている敷地にある24遺跡をまとめて農業開発総合センター遺跡群と呼んでいます。平成8年度から調査を開始し、これまで旧石器時代から中世までの遺構・遺物が見つかっています。今年度は、窪見ノ上遺跡他6遺跡の発掘調査を5月から始めました。現在、窪見ノ上遺跡の調査を行っており、縄文時代早期（約8,000年前）の土器や石器が出土しています。また、調理跡ではないかと考えられる集石が検出されています。

しばはら

## 芝原遺跡（金峰町）

芝原遺跡は南薩地域を横断し、吹上浜に流れ出る万之瀬川下流右岸に位置し、河川改修に伴い平成10年から発掘調査を行っています。これまでに縄文時代中期から近世までの遺跡であることがわかっています。今年度は縄文時代後期（約3,500年前）の川岸付近の調査を行っており、土器・石器のほか流木や多くの木の实が発見されています。川と人々との暮らしとの関係を考える上でとても重要な遺跡として注目を集めています。



芝原遺跡 遠景

## 発掘体験してみませんか？

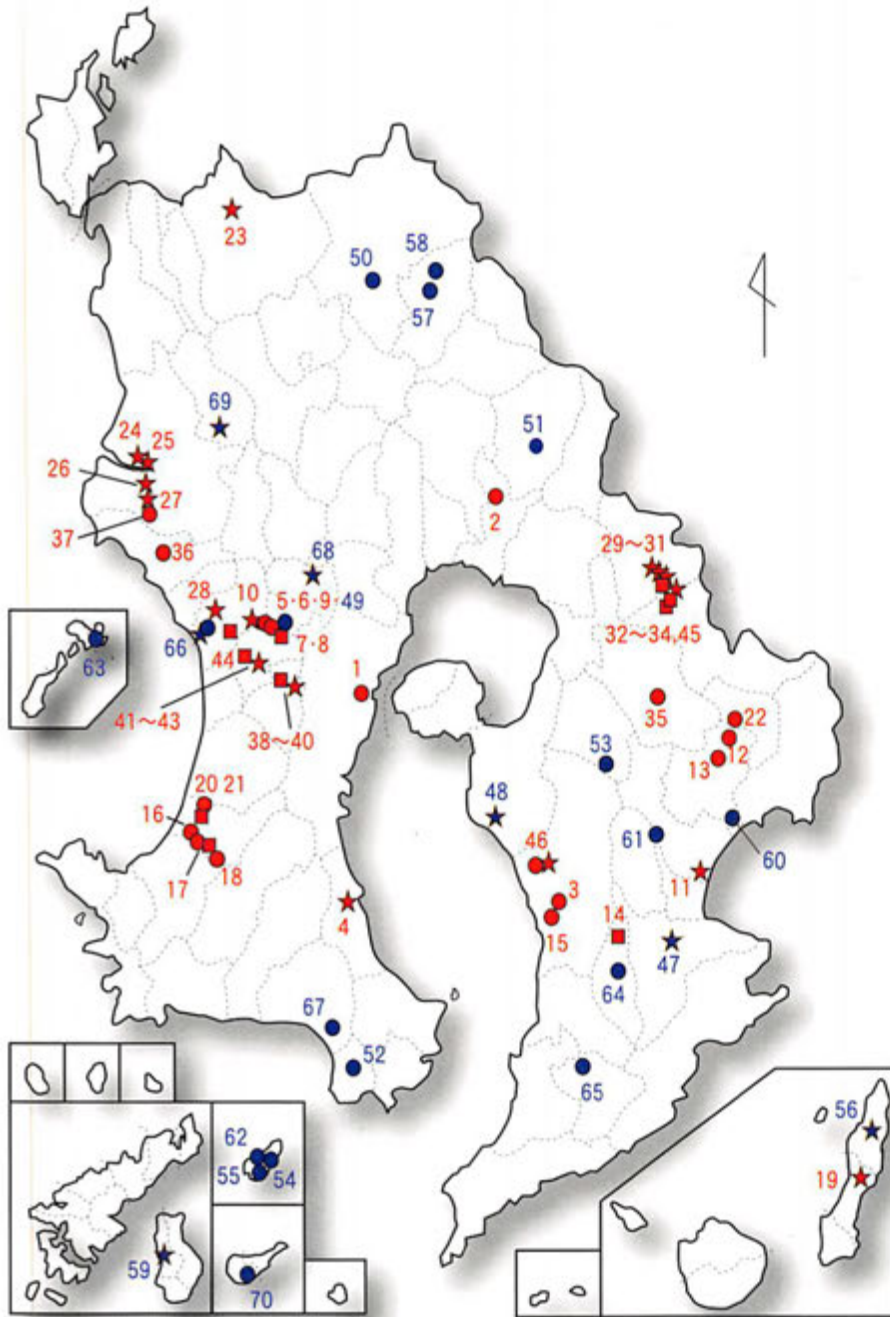


発掘体験の様子

写真は、根木原遺跡（鹿屋市）での発掘体験学習の様子です。平成14年度は仁田尾遺跡（松元町）や椿城跡（串木野市）、農業開発総合センター遺跡群（吹上町・金峰町）でも小中学生を対象とした発掘体験学習や高校生を対象としたキャリアガイダンスが行われました。初めての体験に子供たちも大喜びでした。平成15年度も要望があり次第、対応していきたいと考えていますので、右ページの発掘計画等を参考に埋蔵文化財センターまでご連絡ください。

埋蔵文化財センター（代表） TEL0995-48-5811

# 今年度発掘・整理報告遺跡一覽



県事業関係		
1	鹿児島城二ノ丸跡 (8月)	★
2	東免遺跡ほか	■
3	中ノ原遺跡	●
4	東郷坂A遺跡	★
5	仁田尾中A遺跡 (9~10月)	■
6	仁田尾中B遺跡 (7~9月)	●
7	伊堀遺跡 (5~7月)	★
8	仁田尾遺跡 (5~7月)	■
9	御飯屋跡遺跡 (5月)	●
10	横井竹ノ山遺跡	★
11	後迫遺跡	■
12	松ヶ尾遺跡 (11月)	●
13	谷ヶ迫遺跡 (8~10月)	★
14	中尾遺跡	■
15	野里小西遺跡	●
16	渡畑遺跡 (5~3月)	★
17	芝原遺跡 (5~3月)	■
18	上水流遺跡 (5~3月)	●
19	三角山遺跡	★
20	窪見ノ上遺跡ほか (5~3月)	■
21	建石ヶ原遺跡ほか	●
22	炭野B遺跡(12~2月)	★

市町村関係		
47	高山城跡周辺	★
48	萩原貝塚	■
49	御飯屋跡 (5~7月)	●
50	蘭白陣跡 (7~8月)	★
51	宇都口遺跡 (10~11月)	■
52	東九玉遺跡他 (1月)	●
53	新田遺跡 (5~12月)	★
54	半田口遺跡他 (2月)	■
55	山田中西遺跡 (5~7月)	●
56	鬼ヶ野遺跡	★
57	北山遺跡他 (5月)	■
58	薬師原遺跡 (1月)	●
59	下原遺跡	★
60	穴倉B・上苑遺跡 (7~8月)	■
61	細山田段遺跡 (8~10月)	●
62	見付山遺跡 (1月)	★
63	中町馬場遺跡 (5~6月)	■
64	名主原遺跡 (9~11月)	●
65	大根田遺跡 (1~2月)	★
66	古城遺跡 (9~1月)	■
67	額蛙城跡 (11~12月)	●
68	油須木城跡	★
69	鶴ヶ岡城跡	■
70	住吉貝塚 (8~9月)	●

公団関係		
23	大坪遺跡	★
24	京田遺跡	■
25	大島遺跡	●
26	上野城跡	★
27	大原野遺跡	■
28	上ノ平遺跡	●
29	高篠遺跡	★
30	九養岡遺跡	■
31	鎌場遺跡	●
32	耳取遺跡	★
33	桐木遺跡	■
34	桐木B遺跡	●
35	定段稲村遺跡	★

国 関 係		
36	梅城跡 (7~12月)	★
37	霜月田遺跡 (6~3月)	■
38	宮尾遺跡	●
39	前山遺跡	★
40	フミカキ遺跡	■
41	永迫平遺跡	●
42	下永迫A遺跡	★
43	大田城跡	■
44	堂平塚跡	●
45	桐木遺跡	★
46	根木原遺跡 (10~12月)	■

○ 発掘調査業務  
 □ 整理作業業務  
 ☆ 報告書作成業務

赤色：国・県事業 青色：市町村事業

## 施設紹介

— しゃじょう  
写場 —

写場での遺物写真撮影の様子

遺跡の発掘調査では、出土した遺物（土器や石器など）や遺構（住居跡など）の状態を図面や写真に記録します。写真は図面では記録できない色調や材質などの質感を鮮明に記録することができます。

写場では、遺物の細かな文様や加工の痕が写真で観察できるように大型のカメラを使って撮影が行われ、暗室という真っ暗な部屋の中で白黒フィルムの現像と使用サイズに応じたプリントを行います。

現在、デジタルカメラやデジタル写真がありますが、50年後、100年後も利用できるかまだ分かりません。発掘調査の写真は撮り直しができないので、フィルムに撮影し、温度と湿度が一定に保たれた部屋で保管され、将来にわたって利用されます。



細かな条件を整えて撮影します

## 研修，がんばってます！

## —平成15年度埋蔵文化財長期研修講座受講生の紹介—

当センターでは、県内の埋蔵文化財保護行政を円滑に進めるため、埋蔵文化財担当職員を目指す県内の市町村の担当者を対象に「埋蔵文化財専門職員養成講座」を実施しています。研修後、修了生はそれぞれの市町村で発掘調査や文化財保護業務の担当者として活躍することとなります。

今年度も3名の受講生を迎え、5月6日から11月5日まで6ヶ月間の長期研修が行われています。今年度の受講生を紹介します。



山下 晃さん…霧島町教育委員会  
社会教育課



北野堪重郎さん…和泊町教育委員会  
生涯学習課



尾崎 洋光さん…長島町教育委員会  
社会教育課

## 平成15年度定期人事異動

## 転入

所長 木原 俊孝（総合体育センターより）  
総務係長 平野 浩二（教職員課より）  
総務課主事 福山恵一郎（沖永良部高校より）  
文化財主事 野間口 勇（吹上中学校より）  
文化財主事 廣 栄次（溝辺小学校より）  
文化財主事 國師 洋之（中山小学校より）  
文化財主事 石原田高広（百引中学校より）  
文化財研究員 川元 禎久（皇徳寺中学校より）

## 転出

所長 井上 明文（屋久島高校へ）  
総務係長 前田 昭信（かこしま県民大学中央センターへ）  
総務課主事 栗山 和己（掛宿教育事務所へ）  
文化財主事 堂込 秀人（文化財課へ）  
文化財主事 西郷 吉郎（鹿児島市坂元小学校へ）  
文化財主事 児玉健一郎（鹿児島聾学校へ）  
文化財研究員 菅牟田 勉（上野原縄文の森へ）

## 退職

立神勇志，松下貴史

埋文だより 第32号

発行日：平成15年7月8日  
編集・発行  
鹿児島県立埋蔵文化財センター  
〒899-4461  
鹿児島県国分市上之段1175番地1  
TEL 0995-48-5811  
FAX 0995-48-5820  
E-mail:maibun@jomon-no-mori.jp